

I 教育理念・目的・育成人材像			
中項目	小項目	前年との比較	現在の状況（結果が示していること）
理念・目的・育成人材像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理念・目的・育成人材像は定められているか</li> <li>・ 育成人材像は専門分野に関連する業界等のニーズに適合しているか</li> <li>・ 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか</li> <li>・ 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか</li> </ul>	2.1→1.9	<p>理念等を実現するための具体的な目標・計画・方法を定め教育活動に取り組んできたが、学生の学習到達度の低さが目立ち理念・目的・育成人材像については変更せざるを得ない状況になっている。</p> <p>評価結果では、前年比の平均値は低いもの前年度努力が必要との回答が多かった“理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか”“社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか”の項目に於いて普通の評価に移行した回答が多く、学生の到達度は低いがこのままではいけないという危機感から各教員が教育活動に関する検討を重ねてきたことへの評価と思われる。しかし期待通りの結果を得るには、従来の型にはまった教育を見直し、VUCAと言われる時代に教員自身も変化に立ち向かっていけるよう将来構想を明確にする必要がある</p> <p>現在本校にとって最も重要な問題は、少子化時代を迎え収容定員の減少傾向が続いていることである。このための有効な対策を見出すのはなかなか難しいが今後の大きな課題である。</p> <p>(組織的な検討が必要?)</p>

II 学校運営			
中項目	小項目	前年との比較	現在の状況（結果が示していること）
運営方針 事業計画 運営組織 人事・給与制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理念に沿った運営方針を定めているか</li> <li>★理念等を達成するための事業計画を定めているか</li> <li>① 設置法人は組織運営を適切に行って</li> </ul>		<p>令和 9 年 4 月から設置者の変更に伴い学校名は変わるが、学校の教育に関することや職員の処遇などは変わらないとの報告を受け、人材確保に関しても教員数が増え人材確保の点で評価結果上変化が見られている。</p>

<p>意思決定システム 情報システム</p>	<p>いるか</p> <p>② 学校運営のための組織を整備しているか</p> <p>・人事・給与に関する制度を整備しているか</p> <p>③ 意思決定システムを整備しているか</p> <p>④ 情報システム化に取り組み業務の効率化を図っているか</p>	<p>1.8→1.7</p>	<p>しかし前年比と比較して平均値は低く小項目①②③④については”努力が必要“の回答が多い。</p> <p>これまでと変わらず学校運営に携わる職員としては事業計画に沿って適宜見直し修正を行い、学校運営のための組織を整備していくことを継続している。整備されている内容を評価すると評価結果との乖離を感じる。学校組織が一部変化する時期が年々近づいてきている中、少子化時代の影響を受け教員各々が不安を感じている現状がある。それに加え学校組織の変更に伴い進捗状況がわからず、それが評価に影響しているのではないかと考えると、小項目★の内容の評価が低くなることが予測されるが結果には反映されていない。</p> <p>情報システムでは、人材が確保されたこともありタイムリーに情報が提供でき、業務の効率化が図れるようになってきている。と同時に改善した方がよいと思われる点が明確になってきている。システムのメンテナンス及びセキュリティ管理においても必要に応じて適切に行い、学生指導においても活用できている現状は変わらないが、改善点に関しては評価通りで取り組む努力を重ねている。</p>
----------------------------	---	----------------	--

### III 教育活動

中項目	小項目	前年との比較	現在の状況（結果が示していること）
<p>目標の設定 教育方法・評価等 成績評価・単位認定等 資格 免許の取得の指導体制 教員・教員組織</p>	<p>・理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか</p> <p>・学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか</p> <p>・教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか</p> <p>・教育課程について外部の意見を反映しているか</p>	<p>2.1→1.9</p>	<p>前年比の平均値は低下しているが、人材確保ができ教員の組織体制が整備され連携・協力体制が構築しやすくなっていることや、9期生からの教育課程に関して学習会を含め検討の機会を計画的に設けられていることで、十分とは言い難いが努力できている現状があるため“普通”との評価が多いと思われる。</p> <p>今年は、研修に参加できる機会も増え自己啓発への支援も充実していた。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育を実施しているか</li> <li>・授業評価を実施する体制を整備しているか</li> <li>・成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか</li> <li>・作品及び技術等の発表における成果を把握しているか</li> <li>・教員の資質向上への取り組みを行っているか</li> <li>・教員の組織体制を整備しているか</li> </ul>	<p>評価中項目「目標の設定」「教育方法・評価等」「成績評価・単位認定等」「教員・教員組織」において“普通”の回答が多い。これらの中項目に関しては、年々少しずつ「進んでいる」との回答から移行している。昨年初めて新カリキュラムで育てた学生が卒業し、求めているものと学生の現状に乖離があり、学科及び実習における成績評価の基準を適切に運営するための検討を行った。再度諸規定の見直しを行い学生のレディネスを考え、まず実習時間が短いことが効果的な体験学習の妨げになっている大きな要因と考え、9期生の実習より計画を変更している。講義においても、学生の到達度の低い部分を強化することと自ら考えて行動できる教育を目指し、科目時間数の増減と新しい科目を設定した。特に看護過程の学習に関しては、今までのヘンダーソンのツールから看護診断（ゴードン）に変更している。</p> <p>今年度の合同実習施設会では 2 つのグループに分かれ、実習指導での課題、指導者会の持ち方、今後どのような学習会が必要かという内容でグループワークを実施した。</p> <p>施設から実習記録上は高評価であるが、座学が多い状況で居眠りしている学生がいたり、体調管理が不足している学生、答えを待つ学生が多く自ら考え行動できる学生が少ない、専門職者として最低限必要な報告・連絡・相談の不足があり指導をする中で学生に気づきがあることなど現場での学生の様子が垣間見れた。</p> <p>また、学習障害（グレーゾーン）が増えている印象があり、社会性が育みづらい世の中でそのような学生にどう指導していくか共有していくことも必要ではないかとの意見もあり、今後の学習会として検討していきたいと考えている。</p> <p>今年教員の組織体制が整備されたことと、学生数が減少していることで授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取り組みは今後も継続していきたい。</p>
--	---	--

IV学修成果			
中項目	小項目	前年との比較	現在の状況（結果が示していること）
就職率 資格・免許の取得率 卒業生の社会的評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率の向上が図られているか</li> <li>・資格・免許取得率の向上が図られているか</li> <li>・卒業生の社会的評価を把握しているか</li> </ul>	1.9→1.8	<p>前年比の平均値は低下しているが“普通”の回答に移行している小項目が多い。管理者が、就職や社会的評価に関して就職活動の成果に関する情報や推移を正確に把握し学生の就職活動支援に活用している状況は変わらない。卒業生の社会的評価の把握は“努力が必要”との回答が若干多いが、学生数の減少により実習関連施設での実態を把握できる機会が減っている影響ではないかと考えられる。</p> <p>実習病棟での現状は卒業生が学生指導を担当してくれることもあり指導している姿を目にした時は、基礎教育の成果を感じられ社会的評価を把握する機会になっている。</p> <p>国家試験合格に向けては、2名の学習支援を中心に合格実績・合格率を向上させるために学習計画を立て、特別授業、セミナーの補完や模擬試験への取り組みは強化している。</p>

V学生支援			
中項目	小項目	前年との比較	現在の状況（結果が示していること）
就職等進路 中途退学への対応 学生相談 学生生活 保護者との連携 卒業生・社会人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか</li> <li>・退学率の低減が図られているか</li> <li>・学生相談に関する体制を整備しているか</li> <li>・学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか</li> <li>・学生の健康管理を行う体制を整備しているか</li> <li>・保護者との連携体制を構築しているか</li> </ul>	1.8→1.7	<p>前年度の進んでいるという回答から普通に移行している回答が増え努力が必要との回答が増えている小項目は同じで、前年度より平均値が低下している結果は変わらない。学生が抱える様々な問題を早期に把握するための学習支援中心の関わりや教務主任、副学校長との連携は強化してきた。縦割り担当の教員も設置し学年別の目的を設定し学生間で学習効果を高める活動をしてきたが、今後も整備が必要という課題を示唆されていると受け止めている。</p> <p>中途退学の低減に向けて相談体制を整え未修得科目が増加しないよう学習内容や学習姿勢を確認しながら指導している。また、実習では</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生への支援体制を整備しているか</li> <li>・産業連携による卒後の再教育プログラムの開発実施に取り組んでいるか</li> <li>・社会人にニーズを踏まえた教育環境を整備しているか</li> </ul>		<p>基礎知識の低い学生ほどわからないことがわからず混乱するため、マンツーマンで指導をしてきた。</p> <p>その結果、12月時点での退学者は6名、1名が退学するか休学するか迷っている状態である。</p> <p>要因としては学習到達度に関連しての（複数の未修得科目・未修得単位）進路変更が最も多いのは変わらない。その他入学時の夢や希望が損なわれたということではなく、学習量の多さと難しさが想像していた以上だったのではないかと指導してきた経過の中で察している。</p> <p>しかし、学生が抱える様々な問題を早期に把握するために適切な対応をしてきているが、SNS上から学生の中には学校側の意図とは違う受け止め方をされている事実がある。不甲斐なさを感じるが事実として真摯に受け止めている。今後、少子化の問題は長期化するが、人材確保もでき十分に時間をかけた関わりができる教育体制になる。少人数だからこそできることがたくさんあるとポジティブに受け止め少しずつでも変革していくことが課題である。</p>
--	--	--	---

<b>VI教育環境</b>			
中項目	小項目	前年との比較	現在の状況（結果が示していること）
施設・設備等 学外実習・インターシップ等 防災・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか</li> <li>・学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか</li> <li>・防災に対する組織体制を整備し適切に運用しているか</li> <li>・学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか</li> </ul>	1.5→1.4	<p>前年度に引き続き努力が必要と回答されている項目が多く、平均値もさらに低下している。</p> <p>施設・設備に関する老朽化の問題は前年に引き続き残されている。</p> <p>今年度は、初めて文化祭（岸看祭）を実施している。運営するにあたり学生に積極的に参画させることを促し、地域へのPRも含め社会性が身に着く機会になるよう十分な時間を計画し実施することができた。終了後の学生の反応としては約半数が実施してよかったと実感しており、残り半数には受動的で否定的な意見をもっている学生がいる。</p>

			<p>提供した文化祭の内容としては地域の方々からうれしい言葉をいただいております、準備の大変さはあったと思うが成果は得られている。しかし、今回初めての活動で多くの反省もあり、さらに教育環境を良くしていこうという意欲が“努力が必要”の回答が多かったことに表れているものと受け止めている。</p> <p>次年度もこのような企画を計画し、学生と教員、学生相互の連帯感を醸成することや、学生の社会性を育てていくことに力を注いでいきたい。</p>
--	--	--	--

VII 学生の募集と受け入れ			
中項目	小項目	前年との比較	現在の状況（結果が示していること）
学生募集活動 入学選考 学納金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高等学校等接続する教育機関に対する情報に取り組んでいるか</li> <li>・ 学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか</li> <li>・ 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか</li> <li>・ 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか</li> <li>・ 経費内容に対応し学納金を算定しているか</li> <li>・ 入学辞退者に対して授業料等について適正な取り扱いを行っているか</li> </ul>	2.0→1.8	<p>少子化の問題もあり積極的に学生募集活動を実施した。高等学校等における進学説明会への参加、教育活動の情報提供を積極的に行い、適切な時期に願書の受付を開始し志願者からの入学相談に適切に対応できている。従来通りオープンキャンパスも実施し教育活動の内容を直接紹介し、体験できる機会となり適切かつ効果的な募集活動は行えた。しかし、募集人数以上の志願者は望めず、少子化問題に加え SNS 上の情報拡散の影響により過去最低少人数の入学選考に至っている。入試判定会議で最終検討を実施し受験者全員が入学することになっている。</p> <p>今後、募集活動を開始する時期やオープンキャンパスの計画内容、SNS の活用など長期化する少子化問題に備えての対策は考えていく必要がある。</p>

Ⅷ財務			
中項目	小項目	前年との比較	現在の状況（結果が示していること）
財務基盤 予算・収支計画 監査 財務情報の公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか</li> <li>・学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか</li> <li>・教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか</li> <li>・予算及び計画に基づき適正に執行管理を実施しているか</li> <li>・市立学校及び計画に基づき適切に監査を実施しているか</li> <li>・市立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し適切に運用しているか</li> </ul>	1.8→1.7	<p>昨年に引き続き今年の入学者も定員割れしており収入と支出のバランスが崩れ財政基盤が不安定になっていることで、評価に変化は見られない。</p> <p>よりよい教育を運営するための必要な経費は確保し、無駄な経費は収支バランスを引き続き確認しながらできるだけ安定した財務管理ができるように努力している。</p>

Ⅸ法令等の遵守			
中項目	小項目	前年との比較	現在の状況（結果が示していること）
関係法令、設備基準等の遵守 個人情報保護 学校評価 教育情報の公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか</li> <li>・学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか</li> <li>・自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか</li> <li>・自己評価結果を公表しているか</li> <li>・学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか</li> <li>・学校関係者評価結果を公表しているか</li> <li>・教育情報に関する情報公開を積極的に行っ</li> </ul>	2.1=2.1	<p>昨年、個人情報保護に関して懲戒に値する状況があり、学生、教員共に個人情報管理に関する啓発及び教育に取り組んできた結果、周知徹底と意識啓発は行えている。しかし情報過多で個人が容易に情報発信できる時代において、学生にとっては日常の遊びの一貫で SNS に投稿をする学生もいる。合同実習施設会のグループ討議の中で話題に上がっていたが、情報リテラシーの教育は今後も必須でこの時代の学生だからこそ、自分自身の信用に関わることをしっかり認識させる必要がある。</p> <p>中項目の「学校評価」「教育情報の公開」、学校が保有している個人情報に関することは怠ることなく取り組み、適切な運用ができていく状況に変化はない。</p>

	ているか		今後も社会（関連施設）の信頼を失うことがないように、関係法令の周知徹底を図り啓発教育を実施していくことを継続していく。
--	------	--	---

<b>X 社会貢献・地域貢献</b>			
中項目	小項目	前年との比較	現在の状況（結果が示していること）
社会貢献・地域貢献 ボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</li> <li>・学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか</li> </ul>	1.3=1.3	<p>前年比の平均値は全く変化がなく、前年と同様”努力が必要“と回答している割合もほぼ同じである。</p> <p>今年は縦割り活動を通して岸看祭を実施したが、その中で得られた収益を寄付させていただき僅かではあるが貢献につながったのではないかと。初めての試みで主体は学校であったが、それを契機に今後更に地域との連携が密接になり学校運営の理解につながることを期待している。</p> <p>ボランティア活動については、縦割り活動の中で少しずつ積極的な姿勢が見られていたが、地域社会に視野が向けられているとは言い難い。（自分自身にも関心を寄せていない状況でかなり難しい）</p> <p>今後、学生の主体性を奪うことなく、地域が抱える問題や課題の解決のために、学生も参加し積極的な取り組みができるよう情報提供する支援を少しでも行っていくことは課題である。</p>